

比較文化論 2016後期

(3)
日本語の多様性(1)

1

(復習)“文化”の中の“言語”

- 言語1: 認識と思考の言語 → 一定の普遍性
 - 環境を分け範疇化する: 語彙的範疇化・文法的範疇化
 - “無限”の多様性
- 言語2: 伝達の言語
 - 間接機能的なコミュニケーションツール
 - 社会の中の「コード」(記号)
 - 変化を嫌う(小さな言語の消滅)
 - メディア等の発達による影響・変化
- 言語3: 直接機能性の言語
 - 言霊、呪文、言語芸術、社会化(帰属意識)、
 - 翻訳不可語
 - 多様性、言語固有性

5

“文化”の中の言語の多様性

- 環境
 - 地理(空間)
 - 歴史(時間)
 - 社会(コミュニティ)
- 伝達
 - 伝達目的(知識(論理・情報)、体験、芸術...)
 - 伝達媒体(音声、文字、メディア...)
 - 伝達条件(共在／非共在、個別／不特定多数...)
- (狭義)文化の固有性・個性

9

日本語変種〔国内〕

渋谷・簡2013『旅するニホンゴ』(岩波書店)による

- ① 母語話者の使用する日本語
 - ①-1 共通語・標準語
 - ①-2 地域方言
- ② 非母語話者の使用する日本語変種
 - ②-1 永住者(在日コリアン・在日中国人・中国帰国者・日本人配偶者など)のことば
 - ②-2 一時的(長期・短期)滞在者(留学生・就労者など)のことば

10

日本語変種〔国外〕

渋谷・簡2013『旅するニホンゴ』（岩波書店）による

③海外に移住した日本人（の子孫）の使用する日本語変種

③-1 永住者（日系アメリカ人・日系カナダ人・日系ブラジル人・日系ポリビア人など）のことば

③-2 一時的（長期・短期）滞在者のことば

④旧植民地（台湾・サハリン・韓国・ミクロネシアなど）に滞在した日本人が残した日本語変種

⑤外国人の日本滞在経験者（留学生・就労者、その同伴者など）が自国に持ち帰った日本語変種

11

地域言語の多様性：①-2

- 日本の危機言語
- <http://kikigengo.ninjal.ac.jp/index.php>
- 方言談話資料
https://www.ninjal.ac.jp/publication/catalogue/hogendanwa_siryo/
- （いずれも国立国語研究所）

12

日系カナダ人2世の日本語変種：③-1

- Sean ソシテ、アノ、ナンチューノ、Conch チューノ、Shellカネ? アレモイツパイ ナランデルノ。
- Geof Hum.
- Sean ソレダカラ、anyway、アソコデsmoked salmon カッタノヨ。And, er, I think it was about five dollars a pound グライヨ。We bought about two pounds グライカッテキタノ。コドモタチニ ミセルヨーニ。コドモタチ liked it.
- Midori They liked it, eh?
- Sean Oh, yeah.

（渋谷・簡2013：22の表記による）

13

日系アメリカ人2世の日本語変種：③-1

- ー日本の暗号というのは、大分こみいっていたんですか。
- No, **みやすかった**〔容易に理解できた〕ね。では、暗号は、ふた通りあるね。暗号は、**いたしい**〔難しい〕、codeは、**いたしい**。cipherは、**みやすい**。
（二世で1977年の調査時に57歳だった男性）
（渋谷・簡2013：40）

14

旧植民地の日本語変種:④

- C [お子さんたち]あんまり帰ってこないhō[現地語:よね]。
T 帰ってこない、あんまり。お正月、それから、なにか、ching-ming-chie[清明節]だけ帰るよ。
C ほほ。
T あの墓参りのとき**だ一け**、**全部**帰ってくる、ん。
- [どこでローマ字を習ったかということを説明して]あの一、台北の、〇〇ね、わたしに教えたのよ。その時は、わたし研究したん**でしょ**。ヤミ語の、話で研究したん**でしょ**、僕は...
- 私(って)、コーヒー好き(な人)**でしょ**。(現代の若者語)
 - (渋谷・簡2013:120-121)

15

一時滞在者の日本語変種:③-2

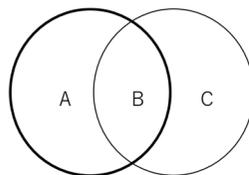
- 須「その田の次たらいふ女が、小町田の**ラブ**しちよる女ぢやネ。」継「さうサ、ところへ吉住といふ男が、.....この男が小町田の競争者[**ライバル**]でネ、ホラ樫森[かしまり]の同級[**ブラザア**]ヨ。」須「ウンあいつか。我輩も一度見たことがあったやうぢや。」継「後[あと]から人力車に乗[のつ]かつてネ、韋駄天[いだてん]の如くに、その場へ駆着[かけつけ]たと想像したまへ。」須「ヤア、そいつは面白かつたなア。」継「吉住は非常に**ドラケン**になつてはあだが、顔[すこぶ]る鋭敏[**クイツク**]な男だから、忽地[たちまち]小町田に目をつけてネ。」須「小町田を芸妓[**シンガア**]の狎客[**ラブ**]ぢやと知っちゃつたのか。」継「已[すで]にその已前に知られてみたさうだからたまらない。忽地[たちまち]嫉妬[**ジエラシイ**]を興[おこ]し来[きた]つて、無理に小町田を引張[ひっぱ]つてネ、茶屋の二階まであがつたさうだ。」

(『当世書生気質』第10回(渋谷・簡2013:21))

→**歴史的变化、社会方言**

17

(参考)言語の多変種能力



第一変種 第二変種

図1 多変種能力モデル
(渋谷2008:181 図6.1より)

18

(参考)言語の多変種能力

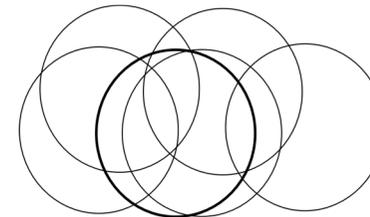


図2 多変種能力の実際
(渋谷2008:184 図6.2より)

19